

就労継続支援A型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	Barrier Free 山王
住所	秋田市旭北栄町1-49 GOWINビル2F
電話番号	018-893-3181

事業所番号	0510101819
管理者名	利部 真太郎
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上	<input type="checkbox"/>	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	<input type="checkbox"/>	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	<input type="checkbox"/>	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	<input type="checkbox"/>	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	<input checked="" type="checkbox"/>	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	<input type="checkbox"/>	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	<input type="checkbox"/>	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	<input type="checkbox"/>	

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		20 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	<input type="checkbox"/>	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	<input type="checkbox"/>	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	<input type="checkbox"/>	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上	<input type="checkbox"/>	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	<input type="checkbox"/>	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	<input type="checkbox"/>	

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方 (※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	<input type="checkbox"/>	
就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	
②利用者を職員として登用する制度	<input type="checkbox"/>	
就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	<input type="checkbox"/>	
就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	
④フレックスタイム制に係る労働条件	<input type="checkbox"/>	
就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	
⑤短時間勤務に係る労働条件	<input type="checkbox"/>	
就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	
⑥時差出勤制度に係る労働条件	<input type="checkbox"/>	
就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	<input type="checkbox"/>	
就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	<input type="checkbox"/>	
就業規則等で定めている	<input type="checkbox"/>	
小計 (注1)	6	

(※) 8項目の合計点に応じた点数(注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上 (※)		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	<input type="checkbox"/>	
参加した職員が1人以上参加している	<input type="checkbox"/>	
②研修、学会等又は学会誌等において発表	<input type="checkbox"/>	
1回以上の場合	<input type="checkbox"/>	
③視察・実習の実施又は受け入れ	<input type="checkbox"/>	
いずれか一方のみの取組を行っている	<input type="checkbox"/>	
④販路拡大の商談会等への参加	<input type="checkbox"/>	
1回以上の場合	<input type="checkbox"/>	
⑤職員の人事評価制度	<input type="checkbox"/>	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	<input type="checkbox"/>	
⑥ピアサポーターの配置	<input type="checkbox"/>	
ピアサポーターを職員として配置している	<input type="checkbox"/>	
⑦第三者評価	<input type="checkbox"/>	
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	<input type="checkbox"/>	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	<input type="checkbox"/>	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	<input type="checkbox"/>	
小計 (注2)	5	

(※) 8項目の合計点に応じた点数(注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	<input type="checkbox"/>	

1事例以上ある場合:10点

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	<input type="checkbox"/>	

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	<input type="checkbox"/>	

1事例以上ある場合:10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	20点	10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計	110	点 / 200点
----	-----	----------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（令和5年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	17888:10:00	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,464	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4:00:26	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々々年度（ 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	円
前々年度（令和4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った賃金総額	円	収支	円
前年度（令和5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	6,812,314	円	利用者に支払った賃金総額	15,853,781	円
			収支	▲ 9,041,467	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する	②利用者を職員として登用する制度 ◎利用者を職員として登用する制度を定めている	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている			
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与 ◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている				
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部 ◎研修計画を策定している ◎外部研修、もしくは内部研修を 1回以上実施している ※研修名 障害福祉とABC理論 研修講師 ゲタバコ倶楽部 高崎翔太氏 実施日・受講者数 5月30日 6人	②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において 1回以上発表している ※研修、学会等名 障害福祉と就労支援について 実施日 3月26日	③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業者の視察・実習を実施している ※先進的事業者名 福祉工房しながわ 実施日/参加者数 2月13日 1人			
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ※商談会等名 秋田南ロータリークラブ 主催者名 日時 8月17日 内容 参加者との情報交換、営業活動	⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している ◎当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 4年12月1日 人事評価制度の対象職員数 5名 うち昇給・昇格を行った者 5名 当該人事評価制度の周知方法 全体会議	⑥ピアサポーターの配置			
⑦第三者評価	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等				
(Ⅵ) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ※受理日 2023年2月8日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	Barrier Free	事業所番号	510101819
住 所	秋田市旭北栄町1-49 GOWINビル2F	管理者名	利部 真太郎
電話番号	018-893-3181	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>リッチモンドホテル秋田駅前 毎週月～金（祝日除く） 客室の清掃及びベッドメイキング等 利用者数 5名</p>	<p><活動の様子></p> <p>ベッドメイキング</p> 
<p><目的></p> <p>障害の理解や仕事の確保及び利用者賃金向上 作業人材の確保 作業のスキルやコミュニケーション力の向上</p>	<p>浴室清掃</p> 
<p><成果></p> <p>作業を通して連携先の方の障がいに対する理解を深めさらなる受注を得ることが出来た。 今後も作業の効率化とスピードアップを目指していく。</p>	

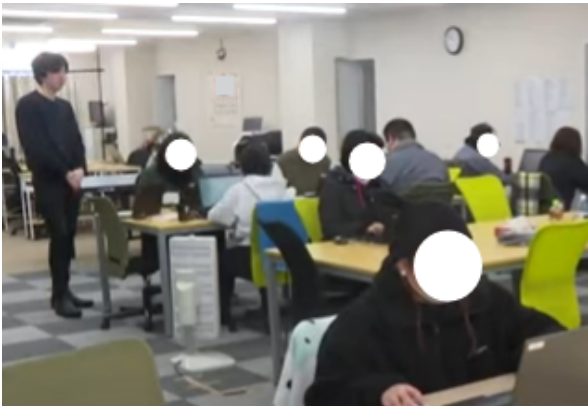
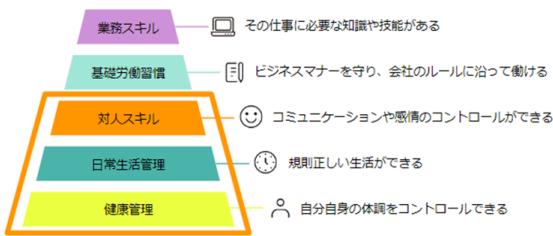
連携先の企業等の意見または評価

<p>■連携した結果に対する意見または評価</p> <p>徐々に技術を習得して綺麗に部屋を仕上げることができている。また、挨拶も良く出来ており、業務に向き合う姿勢を高く評価している。</p> <p>■今後の連携強化に向けた課題</p> <p>時間内に作業を進める必要があり、挨拶等作業以外のスキルも向上させながら、今後のスピードアップを図り部屋数を増やしてもらいたい。</p>			
連携先企業名	大洋ビル管理株式会社	担当者名	今林

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	Barrier Free	事業所番号	0510101819
住 所	秋田市旭北栄町1-49 GOWINビル2F	管理者名	利部 真太郎
電話番号	018-893-3181	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>BarrierFree事業所内にて実施 令和6年11月10日(金) 10:00~10:20 参加者18名 一般就労に向けた知識を向上させるための 座学研修</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業準備性の意味と重要性を知る 2. 企業が求める人材像を知り、自身の目標と現状を振り返る軸にする 	
<p><成果></p> <p>働く上で求められる基礎的な資質や能力を知ることで、一般就労に向けた意識の向上につながった。全体で研修することで事業所全体として職業準備性を軸に日々取り組んでいくという共通認識が出来た。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

事業所の職業指導員による事業所内での研修実施のため、今回は他社連携なし。

連携先企業（担当者）	—
------------	---

利用者からの意見・評価

「一般就労する上では業務スキルが一番重視されると思っていたが、体調や日常生活の管理といった基本的なことが、実は非常に重要であることを確認できた。この学びから、自身の睡眠時間を見直すなど、実際に行動を改善するきっかけにもなった。職業準備性という概念を知り、就職に向けた取り組みに活かすことができたため、この研修会は気づきのある充実した時間だったと思う。」